

向陽

KOUYOU

■発行／東御市商工会広報委員会

■発行人／清水初太郎

■会員数／667

東御市田中178-2

TEL : 75-5536 FAX : 75-0875

Web

会長あいさつ



東御市商工会長

清水 初太郎

全国的にも夏は祭りが多く、日本を代表する有名なものも多くあります。東御市内でも各地区で、伝統ある祭りが数多く開催されています。

今年には雷電為右衛門生誕250年記念事業の計画もあり、例年より多くのイベントが開催される予定です。それらは商工会主催で行う事もあれば他の団体との共催もあると思われれますが、何故商工会が頼られるか、何故商工会主催なのかを考えてみました。近年は勤めに出る人がほとんどです。一方、自営業者の多くが時間を上手に管理することが出来るため、地域貢献を優先して自分の仕事を進めるという前向きな考え方があるからだと思います。村に存在していた青年団は消滅し、消防団も人員不足です。そんな事から、これからは益々商工会の役割は重要になると思います。しかし「自企業の経営が良好であればこそ」という一面も否定できない事実と私は考えます。

県商工連重要施策の一つに「商工会中期マスタープラン」があります。本格稼働から1年を経過し、商工連所属の上席専門支援員や専門家を有効に活用し、経

営課題を解決した企業も増えていきます。このプランは、東御市の指導員で課題解決が難しければ上小グループで、それでも解決できなければ上席専門支援員や専門家（弁護士、中小企業診断士等）で課題解決を図るというものです。補助金の申請や経営計画の策定にも活用でき、しかも無料ですので積極的に活用することをお勧めいたします。

当会では会員増強運動、各種共済の推進等今年度の課題も多いですが、基本方針の目標は大きく変わる事はありません。会員増強については支会毎に未加入企業を巡回し加入勧奨を積極的に推進した結果、廃業等による退会を上回る新規会員数を獲得しており、他の商工会に誇れる結果を残しております。今年度は7月～11月が増強期間となっております。入会金免除等の特典もありますので、是非未加入企業へのアプローチをお願い致します。

また、市からの委託の事業で交通弱者対策のデマンド交通（とうみレッツ号）の運行管理も行っていますが、利用者の減少という課題が発生しており、運行から10年経過したこの機会に、秋口から利便性の向上を図るため運行内容を一部改正して再構築を進めています。

コワーキングスペース「えべや」（創業支援等）の運営も市の委託ですが、商工会館の1階及び2階を利用して起業家

を増やそうと国の政策の一翼を担って頑張っています。会員皆様の知り合いで創業を考えている方がいましたら、一声掛けていただき、会員の増及び地域活性化につなげるため、是非ご協力をお願い致します。色々お願いばかり申しましたが、地域の為という大目標の為よろしくお願ひします。

最後に6月に新聞等で公表された、前指導員による公金不正流用に関しまして、会員及び関係各位に多大な御心配をおかけした事を深くお詫び申し上げます、今後このような事態が生じない様役員職員一同万全を期して対応していく所存でございますので、会員皆様方のご理解ご協力を切にお願いいたします。

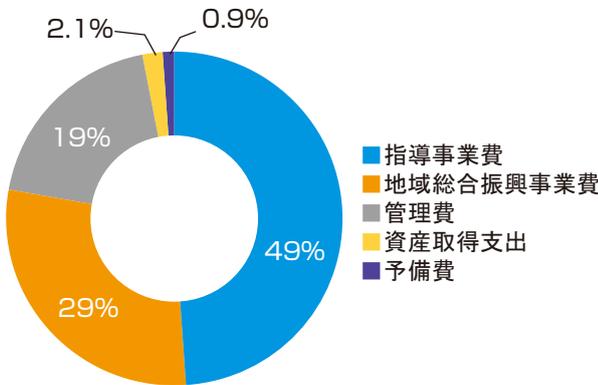


第57回通常総代会において 平成29年度事業計画・収支予算を承認

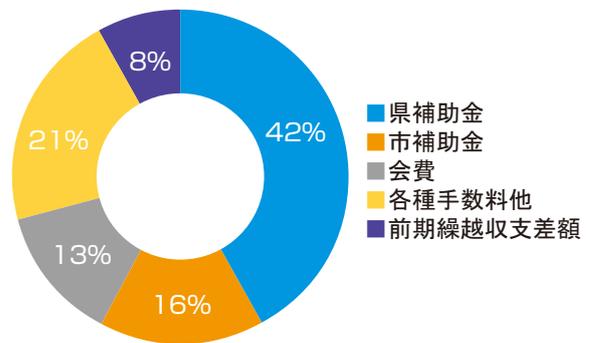
5月18日開催の総代会において、地域で唯一の総合経済団体及び小規模事業者支援機関として行政及び会員、地域・地域企業から期待される役割を果たすため、各関係機関と連携し「地域経済を支える中・小規模事業者の経営力向上」を目的に中長期的な振興の視点にたち事業を推進するとし、次の今年度の重点事業・主な事業の説明がありました。

- ・重点事業
 - ① 組織強化のための会員増強
 - ② 中・小規模事業者の経営革新の推進
 - ③ 事業承継及び創業支援事業の推進
 - ④ 地域ブランドの創出と販路拡大
- ・主な事業
 - ① 一般健康診断及び成人病予防健康診断（6月26日・27日）
 - ② 雷電まつり子供相撲大会（8月5日（土））
 - ③ 商工会親睦ゴルフ大会（10月5日（木）浅間高原カントリー倶楽部にて）
 - ④ 企業経営セミナー
 - ◇ 4月21日 ビジネスマナー
 - ◇ 9月15日 下町ボブスレーの軌跡（大田区事例）
 - ◇ 新春1月上旬 新春経済講演会
 - ⑤ 商工貯蓄共済・新くるみ共済加入特別推進事業（7月1日～11月30日）
 - ⑥ 新春賀詞交換会（新春1月上旬）
 - ⑦ 広報誌「向陽」の発行（年2回（8月、2月）予定）
 - ⑧ 東御市交通システム運行事業

支出の部



収入の部



経営力向上計画で生産性の向上を図りましょう

人口減少・少子高齢化の進展や人手不足など中・小規模事業者を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、足下では生産性が低迷し人材確保や事業の持続的発展が懸念されています。こうした中、労働の供給制約等を克服し将来の成長を果たすべく生産性の向上を図ることが必要です。

経営力向上計画は人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上や設備投資など、自社の経営力を向上するために実施する計画で、関東経済産業局など担当省庁に認定された事業者は①税制や②金融面の支援等を受けることが出来ます。また、各種補助金審査時の加点要素にもなります。

経営力向上計画の策定に当たっては、商工会が県連合会の上席専門支援員や専門家等と連携し計画書の提出までサポートします。なお、申請様式は2枚ですので、比較的簡単な計画を策定することで認定を受けられます。

① 税制措置

取得した設備について固定資産税や法人税等の特例が受けられます。

② 金融支援

政策公庫の低利融資や信用保証協会の別枠保証などが受けられます。

山岸広報委員長の「突撃」レポート ～Local bench 編～

今回もやります、山岸広報委員長の突撃レポート！今回はハード系の美味しいパンで有名な「Local bench」さんです。

お話をお聞きしたのは、しの鉄道滋野駅近くの住宅街にあるパン屋さん。パンの味もさることながらパンに対する思いもひとしおの主人の

中嶋さんは、以前東京のパン屋で働いていて、転勤がきっかけで上田市で働くようになりました。自分でお店を開きたいという思いが現実となり

平成 22 年に開業。おいしいパンが評判を呼び市内はもちろん、市外のリピーターも多く訪れています。パンのおいしい匂いとともに出迎えてくださり、インタビューに答えて頂きました。

〈山岸〉初めまして。広報委員長の山岸です。早速ですがご出身が埼玉とお聞きしましたが、東御市を選んだきっかけを教えてください。

〈中嶋〉以前から田舎で働きたいと思っていました。上田市で働いているうちに、こっ

ちで自分のお店を持ちたいと思うようになったのがきっかけです。

東御市は上田に住んでいる時から「いな」と思っていて、ワイン・チーズや農産物などの食べ物で面白くなりそうなる予感がありました。また私の心に残っている本に「暮らしの中で焼くパン屋、家族と共にパンで暮らす」そんな言葉がぴったりでこの街に決めました。

〈山岸〉苦勞していた頃もあったとお聞きしたのですが、どんな転機があったのですか。

〈中嶋〉実際軌道に乗り始めたのも、最近なんです。それまではパンの売れ行きも、お客様も少なく、自信が無くなってしまった時期もありました。店を開けば、それなりにお客様が来てくれると甘い考えで、営業も販促活動も行いませんでした。ところが、お客様は来ないし、パンもいいものが焼けなくて、相当落ち込みました。このままではダメだと思い、夫婦でお店をやっていたのですが、別々に働くことにしました。



僕の焼くパンは信州産小麦 100% と天然酵母を用い

ています。イーストも商品によっては用いますが、信州小麦と天然酵母のパンは味・香りに深みが増し、作り手の個性が表れます。ただ、膨らみにくいのが難点で納得のいくパンが作れるまで、時間がかかりました。最近では、品質も安定してきたので、販促に力を入れ様と思ひ、

フェイスブックを始めました。フェイスブックではこのようなパンへの思い、仕事に賭ける情熱、商品の詳細、苦勞話、自慢話など、素直に心に思い浮かんだこと、感じたことを写真と共に表現できます。フェイスブックを見てご来店下さるお客様も徐々に増えていきました。

〈山岸〉私もフェイスブックを拝見させていただきました。中嶋さんの熱い思いも、パンの売れ行きも見えてすぐわかるので親しみやすく感じました。

〈中嶋〉ありがとうございます。

〈山岸〉住宅街に、お店を出してみても、この場所はどうか。

〈中嶋〉そうですね、建物も環境も良いのですが、お客様に分かりにくいというのが難点です。滋野駅が目印ではありますが、苦戦しています。どうしたら来てくれるのだろうか。昔と今とでは、食や観光のスタイルも変わって来ているので難しいところではあります。

〈山岸〉今後の展望はありますか。

〈中嶋〉食事を提供するという夢が、

当初からありました。

今はパンを売るだけでなく、食べる場所もないし、コミュニケーションも足りてない。

なので、お客様の居場所を作り、パンと共に食事を提供したい。大家さんから店舗前の空き地を借りることができたので、駐車場からのアプローチを考え、看板の位置を自分で移動しました。それに合せ近い将来店舗を改装しお買い物しやすくなります。パンフレットも作成し、ゆくゆくはパンとスープ（食）のお店にしたいと思っています。色んな人が僕を応援してくれそうです。その人達のためにも、ここを「食べ物で癒す場所」として提供できたいと思っています。

〈山岸〉商工会では持続化補助金など各種の補助金制度もありますので、経営力向上計画の策定など進めて、おいしいパンを更に多くの人に提供していただきたいと思っています。本日は貴重なお時間ありがとうございました。



Local bench

東御市乙 950-3

青年部だより

青年部では今年度から(株)SEKIの関祐也部長を筆頭に23名の部員が在籍し活動を行っています。今年度も子どもフェスティバルや雷電まつり、花市などの運営協力やブース出展を行っております。

雷電まつりでは、雷電生誕250周年という事で、青年部主催の子ども向けの催しも去年よりバーションアップし、お祭りを盛り上げます。

本年度のスキルアップ研修では、体験型の研修を計画しております。研修を通じて、個々のスキルだけでなく、部全体としてのチームワークを底上げし、自社や

地域に貢献していけるよう活動していきたいと考えております。

青年部員は、二十歳から四十五歳までの会社経営に携わる者同士が集える数少ない機会の一つです。仲間と共に楽しみながら、これからも積極的に活動していきますので今後ともご協力のほど、お願い致します。



活動報告 田中商店街女性の会

田中商店街女性の会は、フレッシュユフじやの美斉津正子会長を筆頭に田中商店街のおかみさん達で構成されています。

主な活動は、田中駅前ロータリーの花壇に春と秋の2回花を植え、毎日水くれや草取りをして整備しています。特に昨年度からは造園の専門家から支援を受け「駅前ガーデン」として花壇の雰囲気ガラリと変えてみました。しなの鉄道の待ち時間など時間がございましたらご覧になっていただきたいと思います。



秋のえびす講では駅前のクルミを利用して手作りの「クルミおはぎ」や「特製うどん」の販売・バザーを行っています。また、商店街の賑わいづくりの研修会や親睦会を定期的に開催し、資質向上や会員相互の交流を深めています。

商店街の顔はやっぱ「おかみさん」。今日も元気に気さくな笑顔で商店街を訪れるお客様を出迎えています。



地元密着型異業種交流の拠点

コワーキングスペース えべや

2015年10月に東御市商工会内にオープンしたコワーキングスペースは、様々な職業や分野の人々が仕事をし、交流し、起業や新たなビジネスの架け橋となっています。ひとり一人のライフステージに合わせた働き方を実現するコワーキングスペースを目指し、wifi、コピー機、プロジェクターなどを完備しています。2階には個室型オフィス、教室・会議室を備え、女性の復職・起業支援にも力を入れています。

商工会員の皆様は「えべや」の利用料は無料ですので、お気軽にお立ち寄り下さい。(但し、商談・打合せなどの貸し切りでご利用される場合は、費用が掛かります。)

7月15日(土)には東御市観光協会主催のトライアングルフェス協賛「えべや de Workshop Challenge!」が開催され、60名ほどの皆様にご来場いただき、17名の講師の皆さんと一緒に楽しみました。

「えべや」では、毎月様々なイベントや講座を開催しています。どなたでも参加できますので、お気軽にお申込み下さい。

さい。詳しくはえべやのホームページをご覧ください。

えべや 検索



えべや de Workshop Challenge!の様子

information

会員増強キャンペーン

商工会では組織強化のため特別推進期間(7月~11月)を設け、会員増強キャンペーンを行っています。期間中商工会にご加入頂くと、加入金を免除します。また、新規創業の事業者については、入会金の免除及び、初年度の会費も免除します。お近くで未加入の事業所や新設の事業所等ございましたら、商工会まで情報をお願いいたします。